

種目【算数科】

書名 項目	新しい算数	2 東書
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○基礎的・基本的な概念や性質、技能を身に付け、それらの意味や原理などを理解できるよう配慮されている。 ○単元末に、「たしかめよう」が設けられ、理解や技能の定着を図るための問題が設定されている。また、巻末の「ふりかえりコーナー」で、前学年までの復習内容が分かりやすくまとめてある。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○問題解決の過程で特に働かせたい数学的な見方・考え方に共通のマークを用いることで、学習のより重要な見方・考え方をとらえやすくしている。 ○2年生以上で、「今日の深い学び」を設定し、解決の見通しをもち論理的に考え判断した過程や結果を数学的に表現し伝え合う学習ができるようにしている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻末の「新しい算数+ (プラス)」で、児童が自主的に発展的な学習や補充学習できるようにしている。また、他教科との関連が深い単元や教材については、マークを用いて関連を明示し、教科横断的な学習が効果的にできるようにしている。 </p> <p> <数学的活動を充実させるための工夫> ○数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を、キャラクターの吹き出しや補助発問によって問題解決ができるように工夫されている。 ○遊びの中で、数量や図形に着目した経験や培った感覚、興味・関心を想起させ、対話を通して、算数の学習につなげていく数学的活動を積極的に取り組めるように工夫されている。 ○単元の導入では、身の回りの事象について対話を通して学習内容と日常生活の関連を強調し、単元末の「いかしてみよう」では、学習したことを日常生活に生かし問題を解決できるように工夫されている。 ○巻頭の「学習のとびら」において「友だちと学ぼう」という対話的な学習方法を明記している。 </p>	
資 料	<p> ○身近な日常事象や、社会や自然の事象が絵と写真で取り上げられている。 ○全学年に数学的活動に用いるページが設けられ、切り取って使用する教具にミシン目が入っている。 ○巻頭にノートの書き方の例や問題解決的学習の取り組み方が示され、巻末に学習に必要な既習内容がまとめられている。 ○「Dマーク」でインターネットを使用した画像や動画が用意されていて、ICTを活用し、視覚的に理解できるようにしてある。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○新出の用語や記号、単位が太字で書かれ、読み方や書き順が示されている。 ○定義・公式、計算の仕方等は、色付けしたり、囲んだりすることによって、強調されている。 ○数学的な見方・考え方やヒントは、キャラクターの吹き出しや囲み等で示されている。 ○各時間の課題・めあてが、下線で強調されている。 ○全学年のすべての文章において、文節の切れ目で改行を行い、読みやすくしている。 </p>	
総 括	<p> ○数学的に考える資質・能力を身に付け活躍できる人を育てるという方針の下、算数の「内容」を学ぶ過程で、「数学的な見方・考え方」を育む構成になっており、この見方・考え方の可視化を意識した紙面になっている。 ○入門期の児童の学びを意識したA4判中綴じの紙面や、小中の接続を意識した振り返りが設けられており、数学的な見方・考え方を育成・発展させることが意識されている。 </p>	

種目【算数科】

書名 項目	<h1 style="font-size: 2em;">たのしい算数</h1>	4 大日本
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○毎時の適用問題が適量確保され、基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、定着できるようになっている。また、「プラス・ワン」という補充問題も巻末にあり、解答も用意され自分でも取り組めるようにしてなっている。 ○「〇年までのまとめ」が新設され、知識・技能を振り返ることができるように工夫されている。 ○学習したことを生活にも生かすように促す「おうちで算数」が新設されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○多くの単元に「じっくり学び合おう！」を設定し、解決の方法が言葉で説明されたり、図や式等と結び付けて考えたりする活動が取り入れられている。 ○本時のまとめには、考え方に焦点を当てた「発見！考え方」が掲載されるとともに、いろいろな場面で使える数学的な見方・考え方がひらめきアイテムとして示されている。 ○「読み取る力をのばそう」という特設問題があり、活用する力や表現力などを養うようにしている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭の「算数ナビ」では、算数の学習の進め方が明示され、学習を発展的に広げ、生活や他教科に生かす態度が育つように工夫されている。 ○学習の途中や単元末の「おうちで算数」「ふくろう先生のなるほど算数教室」「算数たまたまばこ」「読み取る力をのばそう」等では、学習した内容を具体的な生活場面で確かめたり、発展的な学習に活用したりできるように工夫されている。 </p> <p> <数学的活動を充実させるための工夫> ○児童の興味・関心を引き出すような問題や解決の必要感をもたせる課題を設定し、数学的活動を通して考える楽しさや解決できた喜びを味わえるようにしてある。 ○日常生活に関連した題材や、学習したことを生活の中で活用する問題が採用されている。児童の興味・関心を喚起させる必要感をもたせた課題を設定し、数学的活動を通して考える楽しさやできた喜びを感じることができるよう配慮されている。 ○「じっくり深く学び合おう」として、単元の中で特によく考えて、話し合いながら学習する場面を設定している。 </p>	
資 料	<p> ○身近な日常事象や、社会や自然の事象が絵と写真で取り上げられている。 ○全学年に数学的活動に用いるページが設けられ、切り取って使用する教具にミシン目が入っている。 ○巻頭にノートの書き方の例や問題解決的学習の取り組み方が示され、巻末に学習に必要な既習内容がまとめられている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○新出の用語や記号、単位が太字で書かれ、読み方や書き順が示されている。 ○定義・公式、計算の仕方等は、色付けしたり、囲んだりすることによって、強調されている。 ○数学的な見方・考え方やヒントは、キャラクターの吹き出しや囲み等で示されている。 ○各時間の課題・めあては共通のマークで強調されている。 </p>	
総 括	<p> ○考え方に焦点を当てた「発見！考え方」を設定し、知識・技能的なまとめと、考え方に焦点を当てたまとめに分けた構成になっている。 ○各学年1冊の構成で、使いやすさを意図した紙面構成になっている。また、全体が「巻頭」「本編」「巻末」の3部構成で、かつ学習の「めあて」や「まとめ」の充実が意識されている。 </p>	

種目【算数科】

書名 項目	みんなと学ぶ小学校算数	11 学図
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「～したいな」というマークの横に小タイトルをつけ、これから身に付ける知識・技能を明示している。また、「はかせ」では新出の用語や重要な項目を、「まとめ」では身につけた知識・技能や考え方を確認し、基礎・基本の学力が身につけられるようにしてある。 ○単元末問題が「できるようになったこと」「まなびを生かそう」の2つに分かれていて、身につける知識・技能とそれを生かす問題に取り組めるようになっている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「①考える力」「②判断する力」「③表す力」を、算数を通して育てたい三つの学びの力として、2～6学年の上巻の冒頭にまとめられている。 ○既習事項を基に解決の方法を考えたり、答えの見積もりをしたりすることができるよう、吹き出しが活用できる構成になっている。また、特に重要だと考えられる数学的な見方・考え方を「モンスター」で表し、場面に応じて例示されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学習の途中や単元末の「深めよう」「まなびをいかそう」「なるほど算数」「活動!!」「アクティブ!!」「ふりかえろう つなげよう」等では、学習内容を活用したり発展的な学習に取り組んだりできるように工夫されている。 ○「みんなの町の算数」を設定し、身の回りの建物や事象などを算数の目で見られるように工夫している。 </p> <p> <数学的活動を充実させるための工夫> ○問題発見からスタートし、「知りたいな、考えたいな、工夫したいな」等、算数の問題として考えていけるような学習の流れにしたり、数学的活動の手立てとなる考え方を「モンスター」で例示したりと、工夫されている。 ○巻頭において主体的な学び、対話的な学び、深い学びの「3つの学び方」という学習の進め方が明記されている。 </p>	
資 料	<p> ○身近な日常事象や、社会や自然の事象が絵と写真で取り上げられている。 ○全学年に数学的活動に用いるページが設けられ、切り取って使用する教具にミシン目が入っている。 ○横長A B判の測注を利用して学習の進め方等を示している。 ○QRコードが随所にあり、インターネット上のコンテンツに接続して、学習できる。 </p>	
表 記 表 現	<p> ○新出の用語や記号、単位が太字で書かれ、読み方や書き順が示されている。 ○定義・公式、計算の仕方等は、色付けしたり、囲んだりすることによって、強調されている。 ○数学的な見方・考え方やヒントは、キャラクターの吹き出しや囲み等で示されている。 ○全ページにおいて文を読みやすい位置で改行し、読み取りのつまずきをなくすようにしている。 </p>	
総 括	<p> ○紙面が横長A B判となり、教科書上で作業しやすくなっている。 ○教科書の左側に思考の流れ、右側には見方・考え方が示してある紙面の構成になっている。 ○各学年の巻頭では、「3つの学びの力を育てよう」が設定されており、思考力、判断力、表現力等の具体的な力が示されている。 </p>	

種目【算数科】

書名 項目	<h1>小学算数</h1>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">17 教田</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○児童のつまづきへの支援をする「考えるヒント」や「よくあるまちがいを紙面上に示している。 ○基礎・基本を定着させるために毎時の学習から単元のまとめ、家庭学習への学びのサイクルを意識した構成になっている。 ○知識・技能を学年を超えてつなげる「学びのマップ」や「学びの手引き」が設定されている。 ○単元末の「まとめ」では、「知識」「技能」「見方・考え方」に分けて学習内容を確認できるようにしている。「振り返ろう」では、基礎・基本となる「知識」を簡潔に整理している。「たしかめよう」では、「技能」の習得を確認している。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○問題、発見の過程を「はてな→なるほど→だったら」の吹き出しに示し、児童の「問い」の連続で学習を進められるように工夫されている。 ○働かせた数学的な見方・考え方を振り返ることで、そのよさを見いだせるように構成されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○多くの単元末には、学んだ算数を活用する活動を取り入れられている。 ○巻頭の「学びの手引き」では、問題解決の楽しさを味わいながら、児童が算数の学習の進め方・学び方を身に付けられるように工夫されている。 ○学習の途中や単元末の「学んだことを使おう」「算数ワールド」「算数を使って考えよう」「広がる算数」「身のまわりの算数」「算数ミニクイズ」等では、学習を広げたり、実生活との関わりに触れたりして、知的好奇心を高められるように工夫されている。 </p> <p> <数学的活動を充実させるための工夫> ○身近な題材から算数の問題を見だし、「はてな」「なるほど」「だったら」と問いの連続で授業を展開し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるように工夫されている。 ○巻頭の「学習の進め方」において、「みんなで話し合う」の場面が設定されている。「学びを深める大切な言葉」として、対話を促す観点が明記されている。 ○単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な場面から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○身近な日常事象や社会や自然の事象が絵と写真で取り上げられている。 ○全学年に数学的活動に用いるページが設けられ、切り取って使用する教具にミシン目が入っている。 ○巻頭にノート書き方の例や問題解決的活動の取り組み方が示され、巻末に学習に必要な既習内容がまとめられている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○新出の用語や記号・単位が太文字で書かれ、読み方や書き順が示されている。 ○定義・公式、計算の仕方等は、色付けしたり、囲んだりすることによって強調されている。 ○数学的な見方・考え方やヒントはキャラクターの吹き出しや囲み等で示されている。 ○各時間の課題・めあては囲みで強調されている。 </p>	
総 括	<p> ○児童の疑問や問いを重視し、それらを協働的に解決し、さらに新たな問いに向かう「問いの連続」を意識できる構成になっている。 ○「算数のミカタ」で各領域の数学的な見方・考え方を顕在し、「算数で使いたい考え方」で各学年で生かしたい数学的な考え方が示されている。また、「見方・考え方」では4コマ漫画で振り返ることができるようにしている。 </p>	

種目【算数科】

書名 項目	わくわく 算数	61 啓林館
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学年に応じてスモールステップで展開されている。 ○巻末には2段階のレベルの「もっと練習」が設けられ、習熟度別学習など実態に応じて柔軟に補充できるよう設定している。 ○各学期に「復習」が設定され、習熟が必要な計算問題は前の学年に遡って取り上げられている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○算数・数学で大切となる類比、帰納、演繹の考え方がそれぞれ「にている」「きまり」「もどる」のロゴを付けて示され、巻末にはそれらを「算数でよく使う考え方」としてまとめ、活用できるように工夫されている。 ○演算決定に関わる図を系統的に学ぶことができるようにされている。 ○巻末の「算数資料集」において、考えをわかりやすく説明するための話型が整理し、まとめられている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭の「学習の進め方」「わくわく算数学習」では、算数の学び方が明示されており、児童が学習に取り組みやすくなるように工夫されている。 ○単元末や巻末の「学びをいかそう」「算数ラボ」「算数の自由研究」「わくわく算数ひろば」「みらいへのつばさ」「やってみよう」「さがしてみよう」等では、日常生活に算数の学習を活用できるように工夫されている。 </p> <p> <数学的活動を充実させるための工夫> ○生活や学習での経験や具体的な操作を通して生まれた疑問を算数の問題とし、「学びのめばえ」を示して、めあてにつながる活動をうながすよう工夫されている。 ○「わくわく算数ひろば」「みらいへのつばさ」「やってみよう」「さがしてみよう」では、算数と日常生活との関わりを実感しながら学習が進められるように工夫されている。 ○思考の助けとなる式、図、表などが例示されるとともに、考え方とその解決に至る過程を説明する活動や判断のよりどころについて話し合う活動などを取り入れられている。 </p>	
資 料	<p> ○身近な日常事象や社会や自然の事象が絵と写真で取り上げられている。 ○全学年に数学的活動に用いるページが設けられ、切り取って使用する教具にミシン目が入っている。 ○巻頭にノートの書き方の例や問題解決的活動の取り組み方が示され、巻末に学習に必要な既習内容がまとめられている。 ○巻末に「算数資料集」を設け、児童が問題を解決するのに必要な情報で説明の仕方がまとめられており、個に応じた学びが実現できるように工夫されている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○新出の用語や記号・単位が太文字で書かれ、読み方や書き順が示されている。 ○定義・公式、計算の仕方等は、色付けしたり、囲んだりすることによって強調されている。 ○数学的な見方・考え方やヒントはキャラクターの吹き出しや囲み等で示されている。 ○各時間の課題・めあてはマークで強調されている。 ○実際の授業を想定し、授業の区切りがページの途中にこないように配慮されている。 </p>	
総 括	<p> ○毎時間のめあてを例示し、そのめあてにつながる子どもたちの主体的な考えや気づきを「学びのめばえ」のマークで強調している。 ○他者と考えを共有し、よりよい解決へと高め合う協働的な学びを重視した紙面となっている。 ○学習を連続させたり、日常生活とつなげたりすることによって「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」を意識した構成となっている。 </p>	

種目【算数科】

書名 項目	小学算数	116 日文
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○単元前に既習事項を確かめるプロローグとして「次の学習のために」が、また、巻末に既習の学習内容を確認する「〇〇までに学習したこと」が設けられている。 ○巻末の「しっかりチェック」で繰り返し練習することで、基礎的な知識や技能の習熟・定着が図れるように工夫されている。 ○つまずきやすい内容が含まれる単元には「わかっているかな？」を設けている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○多様な解決の検討や数学的な表現の相互関連を意図した構成をしている。 ○数学的な見方・考え方を働かせる際の手がかりとして「カギマーク」で具体的に示している。 ○巻頭の「算数ノートをつくろう」において、「学び合い」という項目をつくり、友達のよい考えや方法を書くように促している。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻末の「学び方ガイド」で算数の学び方を示し、児童が話し合ったり、学習を振り返ったりすることができるように工夫されている。 ○学習の途中や単元末の「活用」「ハロー！算数」「なるほど算数」、巻末の「算数アドベンチャー」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」等では、発展的な学習に取り組んだり、日常生活と結びつけて考えたりすることができるように工夫されている。 </p> <p> <数学的活動を充実させるための工夫> ○学校生活に関するイラストから算数の問題を見いだしたり、お話作りをしたりする活動を取り入れている。 ○問題解決の過程において、「学び合おう」の場面があり、考えの伝え合いを促すよう設定されている。 ○解決する手段として図を効果的に活用できるよう、系統的に整理し繰り返し図を用いて学習ができるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○身近な日常事象や社会や自然の事象が絵と写真で取り上げられている。 ○全学年に数学的活動に用いるページが設けられ、切り取って使用する教具にミシン目が入っている。 ○巻頭にノートの書き方の例や問題解決的活動の取り組み方が示され、巻末に学習に必要な既習内容がまとめられている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○新出の用語や記号・単位が太文字で書かれ、読み方や書き順が示されている。 ○定義・公式、計算の仕方等は、色付けしたり、囲んだりすることによって強調されている。 ○数学的な見方・考え方やヒントはキャラクターの吹き出しや囲み等で示されている。 ○各時間の課題・めあてはマークで強調されている。 </p>	
総 括	<p> ○基礎的・基本的な力の確実な定着を重視し、くり返し考えたり、確認したりするページを設け、算数が苦手な児童が使いやすい教科書を意識した構成になっている。 ○「①どんな問題かな」「②考えよう」「③学び合おう」「④ふり返ろう」という学習過程から、筋道立てて考え、伝え合うように構成し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指している。 </p>	